

静岡県西部地区で発生した新害虫の名前がわかりました!!

クシナシスジキリヨトウ

静岡県内のゴルフ場(主に西部地区)で数年前からスジキリヨトウに外観上非常に酷似した害虫が見つかっていました。

今回、**クシナシスジキリヨトウ**(学名*Spodoptera cilium* Guenee)という事が静岡大学応用昆虫学研究室(廿日出 正美教授、廣森 創助手)により判明した(同定者:農水省農業環境技術研究所 吉松慎一氏2002.2)。

本種は、2001年に当社が調査を行った結果、新たに数カ所のゴルフ場で確認することができ、今後も分布が広がる可能性が高いと考えらる。

雌雄共に触角の形態が同じ

クシナシスジキリヨトウ



本種が日本で確認されたのは、沖縄などわずか数例で、ほとんど知られていない虫である。最初に発見されたのはジャワ島で、アフリカ、アジアの熱帯域に広く分布し、主にイネ科植物を食害する。

名前の由来は、成虫の触角の形態がクシ型でないところから付けられた(スジキリヨトウの場合、オスはクシ型をしている)。

従って、成虫の雌雄の判断は非常に難しい。

注意点!!

- ・スジキリヨトウよりも**生育スピードが速い**ため、野外での**発生回数が多くなる**。特にスジキリヨトウと混在したゴルフ場では、発生時期がずれる可能性があるのでシーズン中、交互に成虫が発生する危険性が高い。
- ・スジキリヨトウがノシバ・コウライを好んで食べるのに対し**クシナシスジキリヨトウはティフトンを好む**。
- ・**スジキリヨトウ用のフェロモンには反応しない**ので予察が困難である。

スジキリヨトウとクシナシスジキリヨトウの比較



スジキリヨトウ幼虫



クシナシスジキリヨトウ幼虫

- ・スジキリヨトウは背面の黒い模様が三角形なのに対し、クシナシスジキリヨトウは若干カマボコ型。
- ・スジキリヨトウはノシバで飼育した場合（21 条件下）、羽化するまで約45～50日間かかるのに対し、クシナシスジキリヨトウは約30日間。
- ・スジキリヨトウよりも蛹化までの日数が短いため、蛹が小型（スジキリヨトウの4令幼虫ぐらいのサイズで蛹化）。



左：スジキリ、右：クシナシ

形態的にはほぼ同じだが、クシナシスジキリヨトウのほうが明らかに小型(但し小型のスジキリヨトウもいるので一概には比較できない)。



スジキリヨトウ成虫



クシナシスジキリヨトウ成虫

- ・スジキリヨトウに比べ若干小型で、後翅は白っぽい。
- ・スジキリヨトウ用のフェロモンには反応しないので予察が困難。
- ・生育期間が短いため、スジキリヨトウよりも発生回数が多い。